

花矢図書館だより 2021 9



大館市立花矢図書館
【TEL・FAX】0186-46-1557
【火～金】9:00～19:00
【土・日】9:00～17:00

＊ 新着図書 ＊

<一般書>

- ・フワフワするめまいは食事によくなる (坂田 英明)
- ・老いの福袋 (樋口 恵子)
- ・おもしろい石と人の物語 (大平 悠麻)
- ・土偶を読む (竹倉 史人)
- ・MR (久坂部 羊)
- ・宗棍 (今野 敏)
- ・黒牢城 (米澤 穂信)
- ・走れ、若き五右衛門 (小嵐 九八郎)
- ・ヒポクラテスの悔恨 (中山 七里)
- ・沈黙の終わり 上・下 (堂場 瞬一)
- ・なぜ秀吉は (門井 慶喜)
- ・カード師 (中村 文則)
- ・にぎやかな落日 (朝倉 かすみ)
- ・星影さやかに (古内 一絵)
- ・わたし、定時で帰ります。〈3〉 (朱野 帰子)

他

<児童／中学生>

- ・映画クレヨンしんちゃん 謎メキ！花の天カス学園 (臼井 儀人)
- ・ますます残念ないきもの事典 (今泉 忠明)
- ・世界一トホホな算数事典 (細木 保宏)
- ・みんなとおなじくできないよ (絵本)
- ・じいちゃん、出発進行！ (絵本)
- ・たべたのだーれだ？ (絵本)
- ・あきらがあげてあげるから (絵本)

他

今月のおすすめ図書

『琥珀の夏』

辻村 深月

罪を記憶に閉じ込めて、私たちは大人になった。かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。「あの夏」に起きたことは、何だったのか。30年の時を経て、記憶の扉が開く。著者2年ぶりの長編小説。中盤から最終章にかけての緊迫した感情描写は圧巻！「子ども時代の記憶」をテーマにした、人生が愛おしくなる滋味深い小説です。

『いつかあなたをわすれても』

桜木 紫乃

認知症で娘のことをわすれていくおばあちゃん。彼女を見つめながら今までのことをしっかりと心の中に刻み込む娘、そして、その二人の思い出を聞きながら想いを馳せる孫娘…。中央公論文芸賞を受賞した『家族じまい』の登場人物が織りなすもう一つの物語です。生まれ、育ち、そして様々な出会いを経て、やがて老いていくこと、そのすべてが“たいせつなじゅんばん”だということがこの作品に描かれています。

<今月のテーマ>

大人向け 動物と共に
児童向け おつきさま

<おはなし会>

9月8日(水) 10:30～11:00
花矢図書館 児童室

9月のあれこれ

<9月29日は『招き猫の日』>

「くる(9)ふ(2)く(9)」= 来(る)福の語呂にちなみ、9月29日はあの招き猫への感謝の気持ちを表わそうとする記念日に制定されています。

猫は農作物の天敵であるネズミを追い払うことから、神様のような存在として昔から大切にされていました。養蚕が盛んだった時代にはおのずと、猫の像や碑が神社に奉納されるようになったそうです！

右前足を上げた招き猫は「金運招福(→金運が上がる)」、左前足を上げた招き猫は「千客萬来(→人を招く)」という意味合いがあるのを御存じでしょうか？「両足を上げれば御利益も両得なのでは?!」と思いきや、それでは「お手上げポーズ」に見えることから、逆に御利益は無くなってしまふとか…欲張ってはいけないということですね。

🐾 招き猫の色の意味？ 🐾

白色(もとい三毛猫柄) → 広く福を招く 🐾

…あえてオスをモチーフにしており、オスの三毛猫は1000匹に1匹くらいの確率でしか生まれない貴重なもの。そのため、古来より福を呼ぶ貴重な存在とされてきました。

黒色 → 魔除け 🐾

…黒い猫は夜でも目が見えるといわれ、魔除けとしてのご利益があるとされています。

赤色 → 無病息災 🐾

…赤は麻疹や疱瘡(ほうそう)の神が嫌う色とされてきたため、病を除ける無病息災のご利益があるとされています。

他にも「良縁を招く[ピンク]」「選挙で票を招く[豹柄]

なんていうものもあるそうですよ！

